

# 土器川における 大規模水災害に適應した対策検討

## 本検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定や対策等及び「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性についてとりまとめるとともに、香川県内における「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川氾濫地域の関係機関がメンバーとなり、「大規模水災害に適應した対策検討会」を設置するとともに、意見集約の場として土器川氾濫地域の住民が集まり、意見交換するワークショップを開催しました。

### ● 香川地域継続検討協議会 (既存会議)

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日

3/26提出

「とりまとめ書(案)」の提出

### ● 大規模水害に適應した対策検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

終了

意見集約

### ● 大規模水害対策ワークショップ (WS)

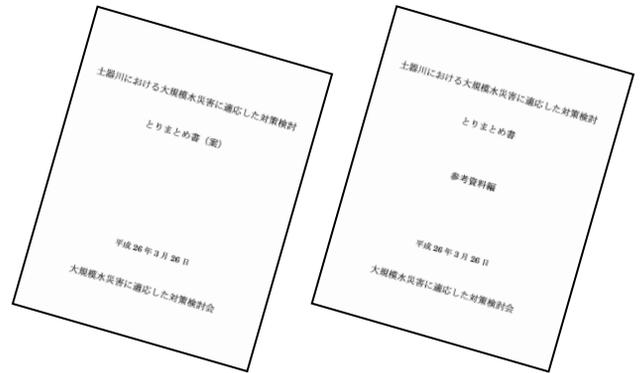
- ・メンバー 土器川氾濫地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

終了

## とりまとめ書(案)の提出

### ◆ とりまとめ書(案)を提出しました

- ワークショップのなかで多くの住民の方々に頂いた意見を検討会に活用させていただき、「大規模水害対策に適應した強靱な社会づくり」の方向性をまとめた「とりまとめ書(案)」を作成し、香川地域継続検討協議会へ提出しました。
- 検討会のなかでは適應策の推進に際し、国、地方公共団体等の防災関係機関連携や、大規模水害対策検討の目標と戦略について議論しました。



とりまとめ書(案)本編と参考資料編

## とりまとめ書(案)等に関する詳しい情報はこちら・・・

とりまとめ書(案)の内容や、これまでのワークショップや検討会の開催経緯などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のパナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosugai/index.html>

「大規模水災害に適應した対策検討」, 「大規模水害対策ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32

TEL : 087-821-1623 (計画課直通) FAX : 087-821-1713



# 「大規模水害に適應した対策検討会」を開催しました

- 「大規模水害に適應した対策検討会」を計2回実施し、ワークショップによる住民意見を踏まえ、関係機関共同でとりまとめ書（案）を作成しました。
- 検討会で作成したとりまとめ書（案）を平成26年3月26日（水）に香川地域継続検討協議会に提出しました。



## これまでの取り組み経緯

平成25年7月28日（日） 第1回WS  
平成25年8月31日（土） 第2回WS  
平成25年10月6日（日） 第3回WS

終了

平成25年12月19日（木） 第1回検討会  
平成26年2月24日（月） 第2回検討会

今回  
開催

### ◆ワークショップの住民意見整理

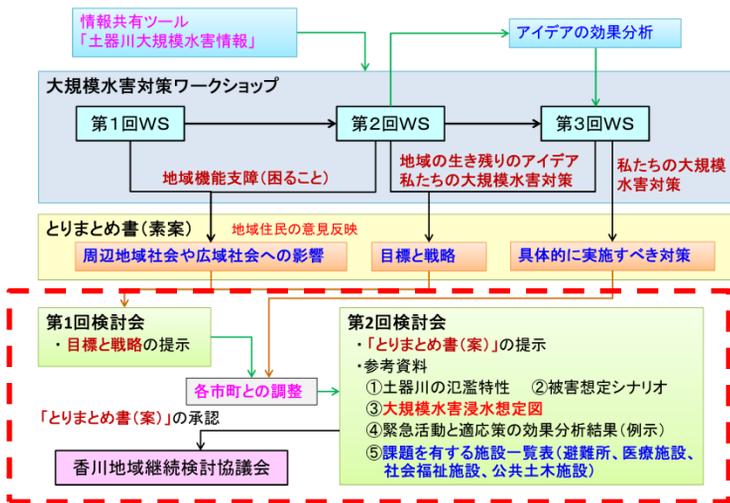
- ワークショップの住民意見：避難行動（大規模水害時に困ること）

#### 1. 困ることへの対策

- ① 身近な危険情報のしきい値（目安）設定
- ② 適切なタイミングでの危険情報入手
- ③ 地域住民が自ら判断し助け合う環境の整備

#### 2. 見込まれる対策効果

安全な避難行動の実現や規範意識の向上



とりまとめ書（案）作成の流れ

## 大規模水害に適應した対策検討会

### ◆大規模水害に適應した対策検討会の概要

- 土器川での「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性についてとりまとめるとともに、香川県内における「水災害に適應した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものです。
- 第1回検討会で「目標と戦略の提示」、第2回検討会で「とりまとめ書（案）」の提示を実施しました。

#### 【第1回・第2回検討会の議事項目】

- ・ 議事－1：「大規模水災害に適應した対策検討の取り組みとワークショップ概要」について
- ・ 議事－2：「大規模水災害対策の目標と戦略」について
- ・ 議事－3：とりまとめ書（案）「具体的に実施すべき対策」について

### ◆大規模水害対策の目標と戦略

#### 住民（自助）や地域（共助）による取り組み

【目標】 様々な機関が持つ危険情報と地域コミュニティ活動の有機的な連携を図ることにより、地域住民が自ら判断し助け合って、命の安全を確保するための避難を実行します。

【戦略】 ・ 住民目線による危険情報共有ツールを整備

- ・ 適切なタイミングにより危険情報を取得できる環境を整備
- ・ 地域コミュニティ活動の活性化を図るために自治体機能を強化
- ・ 危険情報と地域コミュニティ活動を有機的に連携させるために香川型DCP手法を普及・促進

#### 防災関係機関（公助）による取り組み

【目標】 大規模水害に対する地域共通の想定シナリオを持ち、安全な避難や復旧・復興に対して実効性を確保します。（被害の防止・軽減・早期回復のための施設整備を実施）

【戦略】 ・ 地域間で共通化された大規模水害想定シナリオを作成

- ・ 急流河川のため、避難時間を確保できる施設の整備を優先
- ・ 浸水被害の早期回復に貢献する施設や防災拠点機能の継続性を確保
- ・ 新規の施設整備にあたっては、安全な避難に対する実効性の確保や耐水化等による施設の機能向上